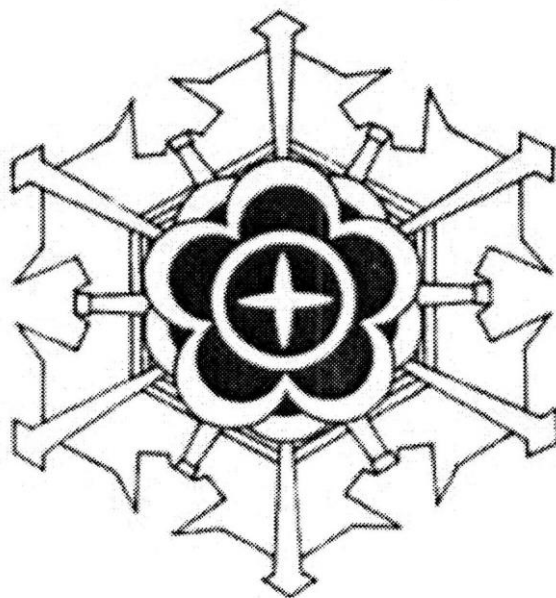


# 火災・救急・救助 統計

(平成30年1月～6月)



田川地区消防署

## 目 次

### 火災編

平成30年上半期の火災概況	1
表(1) 火災の概況と前年比較	2
表(2) 月別火災概況	3
表(3) 過去5年間の出火原因順位表	4
表(4) 市町村別火災件数比較表	4

### 救急編

平成30年上半期の救急概況	5
事故種別ごとの出場状況	6
表(1) 救急事故種別出場件数比較表	6
年齢区分及び傷病程度別分類	7
表(2) 年齢区分、傷病程度別搬送人員	7
表(3) 年齢区分、事故種別搬送人員	8
表(4) 市町村別、事故別の出場状況	9
表(5) 時間別出場件数	10
表(6) 管外への搬送状況	10
表(7) 市町村別高齢者(65歳以上)の搬送状況	11
表(8) 各種救急講習	12

### 救助編

平成30年上半期の救助概況	13
表(1) 救助活動状況と前年比較表	14
表(2) 事故種別救助活動状況	14
表(3) 市町村別事故種別救助活動状況	15
事故の区分	16

# 火 災 編



## 平成30年上半期の火災概況

平成30年1月～6月までの上半期の火災件数は31件であり、前年の53件と比較し、22件の減少になっています。

1ヶ月当たり約5.2件の火災が発生しており、1週間では約1.2件の火災が発生したことになります。

火災の種別ごとの発生件数は、建物火災12件、林野火災5件、車両火災0件、その他の火災14件となっています。

出火率（人口1万人当たりの火災件数）は2.4件で、前年の4.1件と比較すると1.7件低い数値となっています。

損害額は22,344千円で、前年の746,517千円と比較すると724,173千円の減少となっています。

前年同様火災による死者は発生していませんが、負傷者については前年より1人増加し2人となっています。

出火原因は、たき火9件、たばこ3件、放火（疑い含む）、火遊び、ストーブ等が各1件で上位となっています。

表（１） 火災の概況と前年比較

（１～６月）

区 分		平成 2 9 年	平成 3 0 年	増 減	
火災件数		53 件	31 件	▲ 22 件	
焼損面積	建 物	1,185 m <sup>2</sup>	626 m <sup>2</sup>	▲ 559 m <sup>2</sup>	
	林 野	83 a	75 a	▲ 8 a	
焼 損 棟 数		27 棟	15 棟	▲ 12 棟	
り 災 世 帯		18 世帯	9 世帯	▲ 9 世帯	
り 災 者 数		49 人	23 人	▲ 26 人	
死 者		0 人	0 人	0 人	
負 傷 者		1 人	2 人	1 人	
損 害 額		746,517 千円	22,344 千円	▲ 724,173 千円	
全火災 1 件当 たりの損害額		14,085 千円	721 千円	▲ 13,364 千円	
建物火災 1 件当り	焼損面積	85 m <sup>2</sup>	52 m <sup>2</sup>	▲ 33 m <sup>2</sup>	
	損 害 額	3,203 千円	1,742 千円	▲ 1,461 千円	
1 ヶ月当りの火災件数		8.8 件	5.2 件	▲ 3.6 件	
出動人員（延）		565 人	343 人	▲ 222 人	
備 考		平成 3 0 年中の火災件数		平成 3 0 年中の損害額	
		31 件		22,344 千円	
		（内訳）		（内訳）	
		建物	12 件	建物	20,900 千円
		林野	5 件	林野	0 千円
		車両	0 件	車両	0 千円
その他	14 件	その他	1,444 千円		

表(2) 月別火災概況

(1~6月)

区 分 月 別	火災件数					爆 発	焼 損 棟 数	罹災状況				焼損面積		損 害 額 (千 円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他			世 帯 数	罹 災 人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	
1月	5	4			1		4	2	3			94		1,839
2月	7	4	1		2		7	5	11		1	445		18,979
3月	8	1	2		5		1					1	5	1,404
4月	4		1		3								70	
5月	4	1	1		2		1	1	6			84		
6月	3	2			1		2	1	3		1	2		122
合計	31	12	5	0	14	0	15	9	23	0	2	626	75	22,344

表（３） 過去５年間の出火原因順位表

（１～６月）

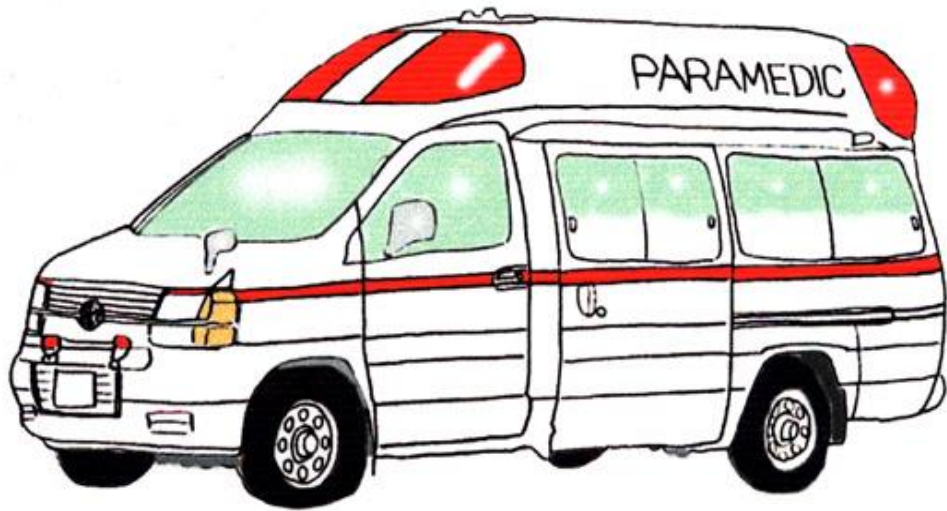
年別 順位	２６年	２７年	２８年	２９年	３０年
１位	火入れ	放火(疑い含む)	放火(疑い含む)	たき火	たき火
	１１件	１２件	４件	１４件	９件
２位	放火(疑い含む)	たばこ	火遊び 電灯・電話等の配線	火遊び 放火(疑い含む)	たばこ
	７件	８件	各２件	各３件	３件
３位	こんろ たき火	こんろ			放火(疑い含む) 火遊び ストーブ等
	各６件	４件			各１件
４位		火遊び・たき火	マッチ・ライター たき火 溶接機・切断機	ストーブ たばこ こんろ等	
		各３件	各１件	各１件	
５位	火遊び				
	２件				

表（４） 市町村別火災件数比較表

（１～６月）

市町村 年別	２９年	３０年	増減
田川市	16	7	▲ 9
香春町	9	4	▲ 5
添田町	2	3	1
川崎町	9	5	▲ 4
糸田町	3		▲ 3
大任町	4	3	▲ 1
福智町	8	5	▲ 3
赤村	2	4	2
合計	53	31	▲ 22

# 救 急 編





## 平成30年上半期の救急概況

平成30年1月～6月までの上半期における救急出場件数は3,835件（前年3,693件）、搬送人員は3,525人（前年3,444人）で、出場件数が142件増、搬送人員が81人増になっています。

一日平均の出場件数は、21.2件であります。

田川地区における救急業務の特徴は高齢者（65歳以上）の救急患者が多いことであり、上半期では高齢者の搬送人員が2,464人で全体の69.9%を占め、高い割合となっています。

田川地区には、救急3次病院がないため管外地区（飯塚、久留米、北九州、福岡）への搬送が多く、管外に搬送した人員は642人です。

管外への搬送は長時間となるため、搬送中に重症患者の容体の急変が危惧されます。

こうした田川地区の特殊事情を踏まえ、助かる命を助けるために救急救命士の養成、救急隊員の資質の向上に努めています。

また、住民の応急手当の普及啓発をすすめ、救急医療体系でのプレホスピタルケアの責務を果たすとともに、医療機関及び関係機関の一層の協力を得て、夜間でも休日でも救急医療が受けられ、安心して暮らせる街づくりの実現に向けて一層努力したいと考えております。

## 事故種別ごとの出場状況

平成30年上半期事故種別ごとの出場件数の順位は、1位が急病2,413件（62.9%）で、以下転院506件（13.1%）、一般負傷483件（12.5%）、交通事故188件（4.9%）となっています。

表（1） 救急事故種別出場件数比較表

（1～6月）

年		平成29年	平成30年	増 減	平成30年 救急事故別			
区分								
出 場 件 数		3,693	3,835	142				
救 急 件 数		3,414	3,498	84				
搬 送 人 員		3,444	3,525	81				
救 急 出 場 件 数	事 故 別	平成29年	平成30年	増 減	構成比 (%)	順位		
	急 病	2,273	2,413	140	61.50	1		
	転 院	569	506	▲ (63)	13.19	2		
	一 般 負 傷	408	483	75	12.59	3		
	交 通 事 故	177	188	11	4.90	4		
	そ の 他	203	183	▲ (20)	4.77	5		
	自 損 行 為	25	20	▲ (5)	0.52	6		
	労働災害事故	14	12	▲ (2)	0.31	7		
	加 害	10	12	2	0.31	8		
	運動競技事故	10	11	1	0.29	8		
	水 難 事 故	2	5	3	0.13	10		
	火 災		2	2	0.1	11		
	資 機 材 搬 送	2		▲ (2)	0.00			
一日平均件数		20.4	21.2		100			

## 年齢区分及び傷病程度別分類

搬送人員のうち68.2%が、中等症以上の救急患者となっており、救急車が、救命のために、いかに大切であるかわかります。

しかし、31.8%が軽症者を搬送しており、咄嗟の事故や重症患者が救急車を適正に利用できるように住民への広報を行っています。

年齢別搬送人員では、高齢者の搬送人員が2,464人で全体の約69.9%を占め、成人の搬送人員が844人で、全体の約23.9%を占めています。

死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。中等症とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に到らないもの。軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないものをいいます。

表（２） 年齢区分、傷病程度別搬送人員

（1～6月）

傷病程度 \ 年齢区分	年齢区分					合 計	構成比 (%)
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		
死 亡				3	26	29	0.8
重 症	1	8		57	274	340	9.6
中 等 症	5	61	35	429	1,506	2,036	57.8
軽 症		61	46	355	658	1,120	31.8
そ の 他							
合 計	6	130	81	844	2,464	3,525	100
構成比 (%)	0.2	3.7	2.3	23.9	69.9	100	

表（３） 年齢区分、事故種別搬送人員

（１～６月）

事故別	年齢区分						合計	構成比(%)
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者			
火災				1	1	2	0.1	
自然災害								
水難事故					1	1	0.1	
交通事故		10	15	114	54	193	5.5	
労働災害事故				11	2	13	0.4	
運動競技事故			7	3		10	0.3	
一般負傷		17	8	61	361	447	12.7	
加害				5	3	8	0.2	
自損行為			1	4	5	10	0.3	
急病		86	44	527	1,532	2189	62.1	
転院	5	14	6	92	387	504	14.3	
その他	1	3		26	118	148	4.2	
合計	6	130	81	844	2,464	3,525	100	
構成比(%)	0.2	3.7	2.3	23.9	69.9	100		

備考 新生児＝生後28日以内  
少年＝7歳以上18歳未満  
高齢者＝65歳以上

乳幼児＝生後29日以上7歳未満  
成人＝18歳以上65歳未満

表（４） 市町村別、事故別の出場状況

(1～6月)

市町村別出場件数		事故種別												合計	前年合計	増減
		火災	風水害等	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他			
田川市	出場件数			4	75	4	7	190	7	5	881	300	73	1,546	1,571	▲ 25
	搬送人員			1	85	4	6	175	4	4	789	298	62	1,428	1,480	▲ 52
香春町	出場件数				25	4		48	1		214	41	23	356	295	61
	搬送人員				23	4		45	1		199	41	15	328	274	54
添田町	出場件数				14	1		42	1	1	204	26	15	304	267	37
	搬送人員				13	1		39	1		189	26	13	282	256	26
川崎町	出場件数				22	2	2	62	1	3	388	53	21	554	523	31
	搬送人員				23	3	2	53		1	357	53	20	512	490	22
糸田町	出場件数				10			28		4	157	22	11	232	239	▲ 7
	搬送人員				8			27			139	22	7	203	216	▲ 13
大任町	出場件数				9			19		1	110	13	6	158	150	8
	搬送人員				11			17		1	102	13	7	151	148	3
福智町	出場件数	1			31		1	87	2	5	410	51	29	617	564	53
	搬送人員	1			28		1	83	2	4	367	51	20	557	501	56
赤村	出場件数	1		1	2	1	1	7		1	49		5	68	84	▲ 16
	搬送人員	1			2	1	1	8			47		4	64	79	▲ 15
合計	出場件数	2		5	188	12	11	483	12	20	2,413	506	183	3,835	3,693	142
	搬送人員	2		1	193	13	10	447	8	10	2,189	504	148	3,525	3,444	81

表（５） 時間別出場件数

(1～6月)

時間別 事故種別	事故種別				合 計
	急 病	交通事故	一般負傷	その他	
0 ～ 2	125	2	15	25	167
2 ～ 4	92	4	14	13	123
4 ～ 6	99	3	15	14	131
6 ～ 8	195	16	32	22	265
8 ～ 10	279	19	66	93	457
10～12	249	26	55	142	472
12～14	281	22	41	141	485
14～16	215	20	54	88	377
16～18	231	35	56	82	404
18～20	263	26	48	50	387
20～22	225	10	46	47	328
22～24	159	5	40	35	239
合 計	2,413	188	482	752	3,835

表（６） 管外への搬送状況

(1～6月)

項目 搬送地区	搬 送 人 員		合 計
	男 性	女 性	
飯塚地区	282	260	542
北九州地区	32	24	56
直鞍地区	10	19	29
行橋地区	2	2	4
福岡地区	4	2	6
久留米地区	1		1
その他地区			
合 計	331	307	638

表（７） 市町村別高齢者（６５歳以上）の搬送状況

（１～６月）

項目 市町村別	搬送人員			傷病程度				診療科目			時間		事故種別										
	男性	女性	合計	死亡	重症	中傷	軽症	外科	内科	その他	昼間	夜間	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	その他
田川市	438	541	979	8	121	611	240	335	625	19	725	254			1	24	1		147	1	1	534	270
香春町	91	139	230		21	124	75	68	161	1	162	68				4			37			146	43
添田町	89	106	195	4	13	125	53	64	126	5	133	62				4			30	1		131	29
川崎町	182	183	365	6	41	210	107	109	251	5	255	110				7	1		39			256	62
糸田町	65	69	134	1	13	85	35	42	89	3	92	42				1			23			88	22
大任町	54	53	107	1	11	65	30	32	74	1	87	20				5			14		1	72	15
福智町	169	245	414	6	52	253	103	127	284	3	286	128	1			9			67	1	3	271	62
赤村	20	20	40		2	23	15	10	30		20	20							4			34	2
合計	1,108	1,356	2,464	26	274	1,496	658	787	1,640	37	1,760	704	1		1	54	2		361	3	5	1,532	505

注：傷病程度のその他は自宅搬送、又事故種別のその他には転院を含む。  
 （昼間 7：00 ～ 18：59 夜間 19：00 ～ 6：59）

表（８） 各種救急講習

田川地区管内の救命率向上のために、地域住民を対象とした各種救急講習に出向し、心肺蘇生法の講話・実技指導に当たっています。

平成３０年上半期の各種救急講習実施状況は下表のとおりとなっています。

（１～６月）

救急講習種類	回数	受講者数
普通救命講習 （３時間の講習）	9	203
一般救急講習 （１～２時間の講習）	4	76
救急入門コース （９０分の講習）	5	82
上級救命講習 （８時間講習）	2	43
応急手当普及員再講習	下半期に実施予定	
応急手当普及員講習 （３日間の講習）		
合計	20	404



# 救 助 編



### 平成30年上半期の救助概況

平成30年上半期1月～6月までの救助活動状況は、表(1)のとおり救助出動件数56件、救助活動件数31件、救助人員17人となっています。

前年同期においては、救助出動件数46件、救助活動件数27件、救助人員11人となっており、上半期では救助出動件数、救助活動件数及び救助人員が増加しています。

また、救助出動件数を事故種別ごとに見ると、交通事故が最も多くともに19件で全体の33.9%、救助活動件数においては火災が最も多く13件で全体の41.9%、救助人員は交通事故が最も多くともに8人で全体の47.0%を占めています。

近年、救助活動としては、自然災害による特殊災害が発生しています。これらの災害に対応する救助隊としては、高度且つ臨機応変な救助技術の知識及び技術の向上が必要とされ、消防に対する国民の期待と信頼は極めて大きいものとなっています。

田川地区消防署においては、救助工作車更新に伴い、最新の救助資機材を装備しました。本年は最新資器材を扱う救助隊員の育成を行い、救助体制の充実強化を図っています。

表（１） 救助活動状況と前年比較表

項目	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	増減	件数	増減	人員	増減
29	46	▲7	27	▲4	11	▲15
30	56	10	31	4	17	6

表（２） 事故種別救助活動状況

事故種別 件数 及び人員	火	交	水	自	よ	機	よ	建	酸	ガ	爆	そ	合
	災	通	難	然	る	械	る	物	欠	ス	発	の	計
	故	事	事	災	事	等	事	等	事	及	事	他	
	故	故	故	害	故	に	故	に	故	び	故		
救助出動件数	13	19	4				6					14	56
構成比（％）	23.2	33.9	7.2				10.7					25.0	100.0
救助活動件数	13	6	4				2					6	31
構成比（％）	41.9	19.4	12.9				6.4					19.4	100.0
救 助 人 員		8	1				1					7	17
構成比（％）		47.0	5.9				5.9					41.2	100.0

表（３） 市町村別事故種別救助活動状況

市町村別	区 分	事 故 種 別										出動人員等		救助人員					
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	よ る 事 故	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	爆 発 事 故	そ の 他	合 計	車 両  (台)	人 員  (人)	男		女	
																死 者	負 傷 者	死 者	負 傷 者
田川市		2	6	3			3				5	19	73	225		3			
		2	2	3							1	8							
			3	1							1	5							
香春町		1	3				1				3	8	36	111		1			
		1	1				1				3	6							
			1								4	5							
添田町		1	2								2	5	33	98		2			
		1	1								1	3							
			1								1	2							
川崎町		2	1				1					4	20	62					
		2										2							
糸田町		1	2								1	4	22	64					
		1	1									2							
			2									2							
大任町		2	1									3	19	52					
		2										2							
福智町		2	4				1				3	10	35	102	1	1			
		2	1				1				1	5							
			1				1				1	3							
赤 村		2		1								3	15	41					
		2		1								3							
合 計		13	19	4			6				14	56	253	755	1	7			
		13	6	4			2				6	31							
			8	1			1				7	17							

※ 上段は救助出動件数、中段は救助活動件数、下段は救助人員。

## 事故の区分

「火災」	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故
「交通事故」	交通機関により生じた事故
「水難事故」	水泳中の溺者又は水中転落等による事故
「自然災害事故」	異常な自然災害に起因する災害による事故
「機械等による事故」	建設機械、工作機械等による事故
「建物等による事故」	建物、門、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故
「ガス及び酸欠事故」	ガス中毒事故、酸素欠乏等による事故
「爆発事故」	火薬、ガス等の爆発、ボイラー、ボンベの破裂等による事故
「その他の事故」	上記に掲げる事故以外の事故等で、消防機関による救助を必要とする事故